



総会のクライマックスの校歌合唱

第42回在京白聖会総会

日時：5月8日(土) 16時～19時

受付開始15時より

場所：東京グリーンパレス(麹町日本テレビ隣)

参加費：一般10,000円

(在京白聖会年会費2,000円を含む)

学生・院生3,000円(年会費2,000円

を含む/但し、社会人・主婦の院生は一般扱い)



今年の総会は、踊る気マンマン!



今年の総会でも、たくさんのお笑い、お楽しみ抽選会(風景)



は基礎体力づくりからの準備を始めております。
なるべく「飛び入り参加」も受け入れる方向で企画検討しておりますので、先輩諸兄の皆様でご希望の方は、申込葉書にその由をご記入ください。
展示室(さくらの間)では、同期生による書画・写真等作品と、「思い出資料室」として「土人踊り」関連の資料や在校時を偲ばせる品々などを会場に展

示することとしております。これまでの体験を含め、一高「土人踊り」に関する資料がございましたら、こちらでご紹介させていただきますので、ご一報ください。
また、今年度総会では、在校時に担任教諭としてご指導いただいた、高野千俊先生、野村武士先生を盛岡よりお招きする予定です。
世代を越えた交流の時を過ごすことにより、白聖魂が次世代に引き継がれることを願っております。
出欠につきましては、今回同封させていただきます葉書にて、4月16日(金)迄に投函下されば幸いに存じます。
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(昭和53年卒幹事団)

平成22年度幹事団(昭和53年卒)より総会のご案内を申し上げます。
創立130年の節目の年に当たる本年は、「世代を超え、心を一つに、語り、歌い、踊り、より強い白聖の絆を紡ぐ」を基調テーマとして、催事を編成するものとなりました。

在京白聖会
2010
総会

5月8日(土) 東京グリーンパレスにて開催

在京白聖会報

第28号

平成22年3月5日

発行

在京白聖会
(事務局)

〒105-0003 東京都港区

西新橋3-5-2

西新橋第一法規ビル 5F

玉澤健児税理士事務所 内

TEL&FAX.03-3431-5860(直通)

http://www.hakua.sokei.co.jp/index.htm



今年の総会は、私たちが幹事です!



約280名が参加し大いに盛り上がった昨年の総会風景

白聖芸術鑑賞クラブ

笠間日動美術館鑑賞の旅

白聖芸術鑑賞クラブ（ル・サロン・ブラン）は、11月7日（土）、「笠間日動美術館鑑賞の旅」を行いました。笠間焼きで有名な茨城県笠間市にある同館は日本でも指折りの質と量の展示品で知られており、芸術愛好家であれば一度は訪ねてみたい美術館です。敷地には緑溢れる環境に企画展示館、野外彫刻庭園、日本・アメリカ館、フランス館がバランスよく配置されておりました。

企画展示館では向井潤吉展で昔懐かしい日本の原風景を楽しみ、野外彫刻庭園では舟越保武の作品を鑑賞後に代表作の前で記念撮影。さらになだらかな庭園の先にある各館では、350点に及ぶ絵画のパレットコレクション、印象派の巨匠たちの作品を堪能しました。またこの美術館の創



美術館の学芸員の案内で世界の名画を鑑賞



舟越保武の彫刻「原の城」(写真・中央奥)をバックに

設者である長谷川仁・林子御夫妻と舟越保武の深い交流の様子が展示されているコーナーがあり、私たち白聖同窓生にとつては嬉しい空間でした。

2時間に及ぶ鑑賞の間、同館の2人の学芸員の方が、専門的な解説と共に、質問にも丁寧に答えて下さって和やかに交流が図られました。

美術館を出た後、近くにある笠間稲荷で、折から開催中の菊祭りを見学した後、蕎麦屋での交流会、笠間焼きの窯場見学と、密度の高い鑑賞会でした。帰りの常磐線では、会員同士で話に花が咲き、最後まで楽しい一日でした。

中世城郭探訪の集い

小田原城総構見学後記

11月28日（土）午前9時半、小春日の中、小田原駅に参加予定者全員がそろったところで見学を開始しました。

まず中世小田原城の見学に先立ち、江戸期小田原城を構成していた幸田門、大手門を見学していたところ、折り良く小田原市教育委員会主催の小田原城東馬出曲輪・現地発掘報告会が本日行われるとの看板が目に入り

ました。こんなに機会は滅多にないということで、早速百人程の参加者の一員となって、普段は入れない発掘現場の間近で遺跡の見学及び説明を受けることができました。

聞けば、他の城郭では城の正面である大手門から離れた所に設けられる訪問者用の馬小屋が、小田原城では徳川家光の上



早川口二重戸張にて

洛に合わせて増築された折に、大手門近くに設けられた珍しい例であるとのこと、良い見学の機会となりました。会場には発掘された瓦等が並べられており、曲輪の隅にあった櫓の基壇を構成していた石垣が発掘された状態で間近に見ることもできました。

発掘現場を後にしてからは、当初の計画に従い、早川口二重戸張という長い土塁に挟まれた戦国城下町の堅固な出入り口を見学してから、小田原城総構の白眉である小峯の大堀切に向かいました。周囲の山々には、北条氏を攻めるためにやってきた秀吉配下の諸大名が陣を敷いた跡があり、それに囲まれるように作られた数百メートルに及ぶ大空堀は、その緊迫した状況を肌で感じることができ

るものでした。

その後、約400年前の総構がよく残っている稲荷森の空堀、続いて山の神台の堀切、



総構をほぼ半周し、最後は小田原城天守閣をバックに

坂下台の出構えを見学した後、現在は小田原高校の敷地となっている古廓付近を見学してから、天守閣前の広場に戻って所定の見学を終えました。

小田原市は観光の目玉として小田原城をとらえており、旧城跡の用地買収、発掘及び復元に意欲的に取り組んでおり、その現状を肌で感じられる素晴らしい一日でした。

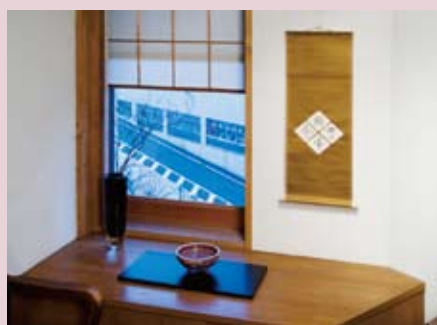


小田原市街と相模湾を一望する総構の最高地・御鐘ノ台にて

平成21年12月2日(水)～4日(金)
開催場所：銀座「アート・ロベ」

白聖芸術祭2009

〈出展リスト〉



オブジェになった気で
「ハイ! ポーズ!」

「第2回白聖芸術祭」は、野口田鶴子さん (S40卒) の宮沢賢治の朗読も行われ、大盛況裡に開催されました。今年度も同じ時期に白聖芸術祭の開催が予定されています。会場でまた新たな交流の場が広がることでしょう。またお会いできる事を楽しみにしております。



◀ 山中雅彦
(S49卒)
〈静物〉

▶ 三浦千波
(S50卒)
〈風景〉



▶ 伊藤馨一
(S52卒)
〈夜のじま〉

▶ 太田正孝
(太田督也 / S25卒)
〈宙(そら)
鍛黒味銅香炉〉



▶ 木村克子 (S29卒) 〈黄色い帽子〉



▲松本 雄 (S30卒)
〈山桜(長野)〉



▲伊東明子 (S50卒) 〈木漏れ日〉



▲福田 隆 (S49卒) 〈秋の乗鞍岳 偲ぶ池〉



▲神尾 厚 (S30卒)
〈山口観音堂(所沢・埼玉)〉



▲一戸裕子 (S43卒) 〈柿〉



▲三宅 保 (S34卒) 〈天神平の秋〉



▲南館英孝 (S36卒)
〈デュルビュイの朝焼け〉



◆千葉祐治
(S41卒・鎌倉彫)
〈香合〉



▲武田夏実
(武田素虹/S53卒)
〈五臓六腑〉



▲伊藤公雄 (S34卒) 〈静物〉



▲佐々木美枝子 (S43卒) 〈白堊五人衆〉



▲早坂光平
(S30卒)
〈句の書〉



▲毛利洋子 (S41卒) 〈チャペルのある風景〉



▲坂上洋子（S40卒）〈願請延年〉



▲小野寺長道（S28卒）〈妙高初冠雪〉



▲玉澤健児（S43卒）
〈Mr.モルジブ・ナポレオン〉



▲及川 謙（S61卒）〈Siam・猫〉



▲村野井徹夫（S35卒）〈秋日和〉



▲大澤邦雄（S43卒・写真と五行歌）
〈秋の日の想い出〉



たくさん来場された（受付）



▲渡部英俊（S53卒）〈創 生〉



宮澤賢治の詩と、五行歌の朗読をする
野口田鶴子さん（S40卒）

細い谷間の木細工集落
どこまでも
黄葉の山また山
あそこは「風の又三郎」の学校だ。
江刺の道に初雪が舞う。
（八十若・S22卒 小川達雄）

表に出ると：
雨上がりの風の香り
ふと甦える
遠い昔の
古里の小道
（だいてんち・S36卒 星邦彦）

晴れた
空
海の青
粒子になって
飛んでみたい
（三浦千波・S50卒）

日本最北端の岬
朝霧にかい間見る望郷の地
空腹で疲れ切った
赤ん坊の泣き声が
波間に響く
（伊奈 裕・S38卒 稲垣裕雄）

車窓の白い景色に
ほっとする なつかしさ
古里が近づいて
何か力が湧いて
来た
（光平・S31卒 早坂光平）

白聖芸術祭に掲出された 五行歌作品

五行歌の展示コーナー



ちよつとしたイベントとして
通り過ぎたはずの『還暦』が
急に重みを増したのは
ふるさとの山に
向かったせいだろうか
（ろろうち・S42卒・宮まゆみ）

車窓から
振り返れば
いつまでも
追いかけてくる
ふるさとの山
（山田武秋・S42卒）



野口田鶴子さんの朗読は、白聖芸術祭開催初日の
12月2日、15時と17時の2回（各40分）行われた

▶ 浅沼榮一(浅沼二道/S27卒)〈同中見異(古文)〉



▶ 佐藤法雄(佐藤容斎/S50卒)
〈楽山(がくざん)〉



▶ 菊池雅子(S44卒)〈悠久〉



▶ 及川昭伍(S25卒)
〈釣窯三足鉢〉



▶ 三浦千江美(S53卒)
〈真而静(しんにしてせい)〉



▶ 池上敦子(S50卒)
〈人間到處有青山〉



▶ 板倉洋子(S28卒)〈ボマルッオの壁〉



▶ 渡部恵子(萌園翠/S53卒)〈天啓〉



▶ 橋本時浩(S53卒)
〈赤い森〉



▶ 高橋正美(S31卒)〈風と帆船〉



▶ 辻田よね子(辻やのか/S55卒)
〈晴れわたる日
Sunny Day in Hawaii〉



▶ 田部井恭子(S34卒)〈金持ちラグナ〉



昨年の参加者

第6回在京白聖レディス会 講演テーマ

「死別の悲しみを越えて」

～女性のライフステージと医療的課題～

〈講師 柴孝也氏のプロフィール〉

S33年卒。現在、慈恵医科大学客員教授・東京医療保健大学大学院教授。東京慈恵医科大学卒業後、長年、感染症に対する化学療法の研究に励まれ、昨年度日本化学療法学会の最高の賞「志賀潔・秦佐八郎記念賞」を受賞されました。医学部教授として活躍されるかたわら、当時の海部総理大臣の主治医としての大任を果たされ、また、巨人軍の監督、選手達の心身両面からの支えとなっておられます。輝かしい業績もさることながら、氏の魅力は何と言ってもそのお人柄にあり、故郷岩手に対する並々ならぬ想い、そして人に対する温かさであります。6年前に奥様に先立たれた悲しみを越えて、在京白聖レディス会の女性のために、どのようなお話を伺えるか、ご期待ください。

女性同士の情報交換や親睦を目的に始まった在京白聖レディス会は第6回目を迎えます。今回は、私たち女性の健康管理について、内科医の柴孝也氏による講演でスタート。楽しいお食事をしながら学年をこえて親しく交流をはかりましょう。皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

参加者募集

今年も銀座で講演会を開催

開催日：平成22年6月26日(土)

在京白聖レディス会



会場地図＝地下鉄銀座駅C2出口から数寄屋橋通りを新橋方向に徒歩3分。昨年と同じ会場。

○日時：6月26日(土) 12:00時～15:00時(11時30分から受付)
○場所：レストラン Sun-mi (サンミ) 高松本店 中央区銀座6-3-19 (※昨年と同じ会場)
電話(03)5568-3300
○参加費：7,000円(在京白聖会年会費2,000円を含む)

○申込：6月11日(金)までに、住所、氏名、卒業年次、電話番号を担当幹事にご連絡下さい。なお、当日のキャンセルはご容赦ください。

○担当幹事 (S33年卒)

秋元潔子(電話)044-966-15376 (FAX)044-951-2758
大川紀子(電話)047-479

在京白聖会「歌の祭り」

参加者募集

ピアノ伴奏で合唱や独唱を楽しむ

開催日：平成22年6月30日(水)

今年も白聖有志による「歌の祭り」を開催します。歌好きが集まって「ピアノの生の伴奏で歌いましょう」という趣旨です。在京白聖会のクラブ活動として承認され、行われることになった昨年は、22年卒から54年卒まで参加の幅が広がり、30人弱で楽しみました。軽い昼食をとりながらの自己紹介、近況報告を皮切りに、昭和54年卒石原真さん(東京芸大作曲科卒)が一高在学中にご自身で編曲した校歌を混声四部合唱で指導。これを手始めに、「はるかな友に」や啄木の短歌「やわらかに」、「不来方」(いずれも高田三郎作曲)の合唱を楽しみました。独唱では、10名を超える発表者がシューベルトの歌曲やオペ



ピアノ伴奏で歌を楽しむ「2009年 歌の祭り」に参加された皆さん

12635
鈴木芳子(電話&FAX)04-81623-4373
住吉綾子(電話)03-3841-0010 (FAX)03-3845-0022
鶴田邦子(電話)042-321-3913
久慈絃子(電話&FAX)04-4951-6270

ラのアリア、カンツォーネ、シヤンソンの数々を披露。なかでも、今回最高齢の昭和22年卒・坂田純治さんのシヤンソン「ロマンズ」は、流石に長年研鑽されただけに、声の良さと表現に皆が感動しました。

それからカラオケタイムへと進み、正午から5時までの5時間があつという間に過ぎてしまいました。

今回も、幅広い年次の方々から、歌が好きな皆様のご参加をお待ちします。

○日時：6月30日(水) 12:00時～17:00時頃

○場所：洋風居酒屋ボナベティ 品川区中延3-8-7

電話03-3787-3634
○参加費：8,000円(ノンアルコールの方は7,000円)

※共に在京白聖会年会費2,000円を含む。

○申込：5月15日(土)までに、早坂光平(31年卒) T175-0082 板橋区高島平8-27-11207

電話&FAX 03-39332-2725 アドレス

アドレス hayak@comhome.ne.jp
に御連絡ください(ピアノの伴奏で歌う方は、この日までに楽譜をお送りください)。申し込みされた方には、後日詳細なご案内をお送りします。(メールアドレス、FAX番号をお持ちの方はお知らせください)

在京白聖会ゴルフクラブ

年次対抗S40年卒・個人江尻さん優勝

昨年11月13日(金)、阿見ゴルフクラブ(茨城県)で行われた第7回在京白聖会ゴルフ大会は、24名が参加し、年次対抗戦と個人戦が行われました。

成績は年次対抗戦が優勝「S40年卒チーム」(細越博資、阿部銀二、江尻伸)、準優勝「S29年卒チーム」(興津維信、高松幹雄、宮台孜、澤口祐三)。個人戦は優勝が江尻伸(S40年卒)、準優勝が遠畑浩紀(S30年卒)、3位が宮台孜(S29年卒)でした。(敬称略)



第7回在京白聖会ゴルフ大会の参加者

白聖芸術祭2009

パワーアップした白聖芸術の祭典!

第2回白聖芸術祭が、12月2日(水)〜4日(金)、昨年と同じ銀座の画廊アート・ロベで大盛況裡に開催されました。会場には絵画、彫刻、陶芸、書、写真、金工、鎌倉彫、タペストリー、五行歌等々、およそ50点の多岐にわたるジャンルの力作が展示されました。期間中は、実に多くの皆様が鑑賞にお出でになり、出品者から制作秘話を聞きながら、在京白聖会会員同士の深い交流が図られました。

また、初日は、同会場において、定期的に朗読活動をされている野口田鶴子さん(S40卒)による「宮沢賢治の世界」の朗読会が2回実施されました。声楽を専攻された後、イタリア留学中に朗読に魅せられたという



個人戦優勝の江尻伸さん



年次対抗戦優勝の40年卒チームの皆さん(左より阿部銀二さん、馬場信会長=41年卒・表彰者、江尻伸さん、細越博資さん)

白聖五行歌会

白聖五行歌会は、毎月第1金曜日午後6時30分から秋葉原で歌会を行っています。参加をご希望の方は03-3269-3420(42年卒・白聖五行歌会代表・山田)までお気軽にご連絡ください。メール sakuraco@leaf.ocn.ne.jp 可。

一つの邑に 十の物語 山里の人々は 伝承の神々と一緒に 暮らしている 山田武秋(42年卒)	桜花の ひとひらに涙を流す 旅立つ前の 最後の親孝行 伊奈 裕(38年卒)
何があるのだ この暮らしの中に そして見つめる 玉の光を 君の瞳の中に 光平(31年卒)	小糠草の穂は さびしい 冬は素枯れて 道端に浮かぶ 小さな小宇宙 八十若(22年卒)

※2009年10月〜2010年2月までの作品から。名前はペンネームもあります。

TOPICS

盛岡・高硬式野球部
今春も千葉に遠征!

春の遠征の日程が次のように決まりました。

3月26日(金) 練習(千葉明德G)
3月27日(土) 練習(千葉明德G)
3月28日(日) 練習試合(千葉明德G)
3月29日(月) 練習試合(東京学館新潟)
3月29日(月) 練習試合(東海大浦安G)
午前:東海大浦安 午後:東海大浦安
3月30日(火) 練習試合(千葉経大附G)
午前:千葉経大附 午後:未定
(注)29日午後の対戦校は変更の可能性がります。

甲子園を目指す後輩の大いなる活躍を期待する在京白聖会OBによる応援は3月28日(日)午前の試合からといえます。都合の良い時間にM旗を目標に直接グラウンドにお出でください。
千葉明德G・京成千原緑学園前駅から徒歩5分。不明な点は在京白聖会事務局にお問い合わせください。

みやこうせいさん(S31年卒)
ルーミア政府より叙勲
S31年卒みやこうせいさんが、ルー

マニア政府から日本の文化勲章に当たる国家十字勲章を授与され、その贈呈式が昨年11月24日(火)、ルーミア大使館で行われました。1965年にルーミアを訪れて以来、44年の長きにわたってルーミアと日本を往来され、世界にルーミアを紹介された、というのが評価された。この叙勲。当日は31年同期はじめ白聖同窓も多数招待され、一緒に受賞を喜びました。



みやさんの叙勲を祝う白聖OB

遊座先生岩手日報文化賞受賞
4月に明大で記念講演

遊座昭吾先生が昨年、啄木研究の実績で岩手日報文化賞を受賞されました。その受賞記念講演が、4月25日(日)、明治大学駿河台校舎のリバティタワー11階1011教室で開催される「国際啄木学会春のセミナー」で行われます。時間は16時〜17時で、どなたでも聴講できます。(聴講料1,000円)。詳細は追って白聖会公式ホームページ等に掲示します。多くのご参加をお待ちしております。



盛岡で開催された受賞記念パーティー(H22.2.7)

お願い
総会に出席できない方は、同封の振替用紙にて年会費2,000円をお振込み願います。手数料節約のため、振込みは窓口ではなく、極力ATMにてお願いします。